

会 議 録

1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）市からの報告

- ・中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について
- ・第2次上越市総合公共交通計画後期計画について
- ・3区中学校統合の進捗状況について
- ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について

○協議（公開）

（1）研修会について

（2）自主的審議事項の検討について

（3）「地域活性化の方向性」の作成について

○その他（公開）

- ・令和5年度活動計画について
- ・大潟区における「地域活性化の方向性」
- ・出張なんでも懇談会の開催について
- ・「移動市長室」の開催について

3 開催日時

令和5年5月30日（火）午後6時30分から7時37分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：相澤誠一、赤川義男、池田幸博副会長、春日清美、北澤誠、五井野利一、杉田和久、藤田憲詮会長、宮川勇、村松進副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、佐々木次長、竹田次長、産業グループ滝澤主幹、中島班長、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ西山グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、高原主任

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者10人。欠席者は小野正広委員、北澤正彦委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：北澤誠委員に依頼。

【藤田会長】

次第に沿って進める。「2 報告」の「(1)会長報告」であるが、特に持ち合わせていない。続いて「(2)委員報告」であるが、委員の皆さんから報告事項があればお願いします。

(会場内から「なし」の声)

続いて「(3)市からの報告」で、「中山間地域農業『将来ビジョン』の完成と実践に向けた取組方針について」、事務局から報告をお願いします。

【竹田次長・産業グループ中島班長】

(資料1に沿って説明)

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等を受ける。

【村松副会長】

私の地域の集落協定からも1人参加しており、概要はお聞きしているところであるが、懸念されるのは、この会議に参加しなければ集落協定が認められないと言われたことと、資料には浦川原区についての記載があるが、本当に実現できるのか。我々がやっとの思いで地域での耕作を放棄せずに農業を続けている状況の中で、IターンやUターンによる担い手の確保、昨今の農業機械の値段の高騰など、それらも含めて本当に実現できるのか疑問がある。

また、この会議の内容について、私たちの集落協定の中では一切話が出てきていない。そういった部分においても事務局から教育や指導をお願いしたい。

資料を見ると「4W1H」の方式で進められ、「新しいビジョン」となっていて、資料の中の「事務局的役割」の中にいろいろな組織が記載されているが、中山間地に関連した方たちが入っていないようである。そういった人について、この推進協議会から外れるのか、入ることができるのか、教えていただきたい。

【産業グループ中島班長】

中山間地域等直接支払制度の関係については、一度でも参加していただければ、交付金の満額単価の要件をクリアできることになっている。また、実際に実現可能なのかといった部分については、まずは組織を立ち上げ、実現可能なところから着実に進めていきたいと考えている。その中でも浦川原区の状況を見ると、米作りが強みであり、例えば、資料にある、「米を活用したもの」や「稲作に関連するもの」などから着手することが現実的なのではないかと考えている。組織を立ち上げた後に検討しながら実現していきたいと考えている。

また、組織の構成員の関係であるが、資料に記載されている方々を想定しているということであり、他の方が全く加わらないということではなく、新たな構成員についても検討させていただき、加わっていただくようになると思う。

【竹田次長】

補足させていただく。「本当に実現できるのか」といった部分が一番重要なところだと思っており、そのためにもロードマップにおいて、具体的に「この年は何をやろう」「次の年は何をやろう」というふうに進めながら、検証していきたいと考えている。実践プランと考えているので、温かい目で見守っていただきながら、ご指導いただきたいと思っている。

【村松副会長】

了解した。

【藤田会長】

他に何かないか。

なければ私から、村松副会長から「本当に実現できるのか」といった意見があったが、浦川原区には公益財団法人浦川原農業振興公社など、きちんとした団体があるにもかかわらず、新たな組織を作ること、また、ハチミツやタケノコといった話も出ているが、何か机上のプランのようで、本当にできるのか疑問である。

それから、予算的にはどうしていくつもりなのか。補助金が1年目は50万円で、2年目は25万円となっているが、この程度の予算でできるのか。行政の机上の計画ではないのか。

【竹田次長】

農業振興公社においては、今回の「将来ビジョン」の構成団体となっているため、協力し

ていただく。また、いろいろな団体が入った中で知恵を出していただくことになっているので、ご理解いただいた中で進めていきたいと思っている。

また、ハチミツやタケノコなどについては、ワークショップの中で2年間かけて出された意見であり、私たちとしては、その意見を大事にしていきたいと考えている。なお、毎年見直しをしていく中で、本当に現実に沿ったものなのか、どこまでできるのか、初めは大きくなくても、少しずつ小さく実践に向けてチャレンジする、取り組んでいくという意気込みであるので、ご理解いただきたい。

予算的な部分においては、1年目は50万円で、2年目は25万円ということであり、浦川原については、今年度に組織を立ち上げて来年度以降に実践していくので、今年度は予算を確保していない。来年度以降、この50万円の中から、試験的に使用する肥料や試験栽培、先進地視察などに活用することとしている。

費用についても、ロードマップ内でどのようにお金を捻出していくかなど、検討していく形となっているため、この部分においてもご理解いただきたい。

【藤田会長】

古来、中山間地においては稲作が最適であるということで、先人たちが選んできた米作りである。今までも豆づくりの推奨など、あらゆることで失敗している経緯があり、ハチミツやタケノコなどを実施していくことについては疑問を持っている。

国策に振り回されている農業について、もう一度、浦川原区そのものが真剣に考えていく必要があるのではないかと。何百年も続いてきた稲作が最適であるということで、この中山間地が生き延びてきたわけであり、それをいかに販売し、計画に織り込んでいくかということのほうが、よほどハチミツやタケノコよりも良いのではないかと考えている。ハチミツやタケノコが本当に生業なりわいになると思っているのか。その辺をきちんと教えていただきたい。

【竹田次長】

ハチミツやタケノコの話が出ているが、ロードマップにおいては、それだけではなく、いろいろなことにチャレンジして取り組んでいくことになっているため、ご理解いただき進めさせていただきたい。

【藤田会長】

相対的な考え方があると思うが、このプランについて、私としては承服できない。企画倒れにならないことを願っている。

【竹田次長】

貴重なご意見として伺い、今後取り組んでいきたい。また、いろいろ相談させていただく

場面があると思われるので、よろしくお願ひしたい。

【藤田会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「第2次上越市総合公共交通計画後期計画について」総務・地域振興グループ北澤班長から説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(資料2-1～2-5に沿って説明)

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等を受ける。

(会場内から「なし」の声)

次に、「3区中学校統合の進捗状況について」教育・文化グループ西山グループ長から説明をお願いします。

【教育・文化グループ西山グループ長】

東頸中学校の新しい制服と体操着を決めるため、4月28日に浦川原中学校において、各中学校の生徒代表がモデルになり、制服と体操着のお披露目会を開催した。また、当日、学校や学年の異なる児童・生徒が交流活動を行い、親睦を深めたところである。

5月17日に第6回PTA部会を開催した。なお、資料2ページの実行委員会名簿のとおり、委員74人のうち、約4割の方が年度変わりで変更になっている。

資料3ページ、副部会長の選出では、安塚中学校、大島中学校のPTAの役員が変更になり、後任の2人が副部会長に承認された。

資料4ページ、制服と体操着のデザインについて、制服は3つのデザイン、体操着の長袖・長ズボンが2つのデザイン、半袖が白と紺の2つのデザインとなっており、保護者からのアンケート結果を基に部会で協議した。明日行われる3区統合実行委員会全体会議に部会での協議結果を報告し、全体会議での承認をもって制服と体操着を決定することとしている。

資料5ページ、上履きの選定は、現在、浦川原中学校のみメーカーが違っているため、次回第7回の部会にメーカーから来ていただき、コンペ方式で上履きを選定することとした。

資料6から8ページまでが安塚中学校PTA会則、資料9から11ページまでが浦川原中学校PTA会則、資料12ページが大島中学校PTA規約となっている。この資料を参考までにお示しし、次回以降会則案、組織案について協議することを確認した。なお、次回のPTA部会は7月中旬頃を予定している。

資料13ページ、5月24日に第2回の通学部会を開催した。副部会長の選出では浦川原区と大島区の町内会代表が変更になり、後任の2人の方が副部会長に承認された。

資料15ページ、安塚区のスクールバスの運行計画では、14人乗りの車両を2台購入し、須川線と坊金・松崎線の2路線を運行する予定であると担当から報告があった。

資料16ページは、安塚区におけるスクールバスの路線図である。

資料17ページ、大島区のスクールバスの運行計画は、安塚区同様車両を2台購入し、菖蒲線と旭線の2路線を運行する予定であると担当から報告があった。

資料18ページは、大島区におけるスクールバスの路線である。

通学部会については、次回9月頃に開催することとし、乗車人数の確認、保護者への周知などを協議する予定である。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等を受ける。

(会場内から「なし」の声)

次に、「地域自治の推進に向けたヒアリング調査について」総務・地域振興グループ北澤班長から説明を受ける。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

市では、令和4年度に地域自治推進プロジェクトを立ち上げ、地域自治の仕組みの強化を目指し、地域独自の予算事業をスタートするなどの取組を進めている。そのプロジェクトの一環で、地域の理想的な姿を描くために、地域で活動している団体の皆さんから現状や課題をお聞きしたいと考えている。本日、お手元に「地域自治の推進に向けたヒアリング調査へのご協力について」という依頼文書と調査票をお配りしたので、6月16日(金)までに総務・地域振興グループへ調査票の提出をお願いしたい。なお、提出に当たっては、総合事務所の時間外窓口へお届けいただくか、メールやファクスでも結構である。電子データが必要な方はお申し出いただければ、後でデータをお送りするので、よろしくお願ひしたい。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等あれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

説明のあったとおり、提出期限を守るようお願いする。

続いて、「3 協議」に入る。「(1)研修会について」であるが、前回の地域協議会における協議の結果、浦川原区地域協議会委員研修会は、講師を吉川区の天明さんへ依頼することを決定し、天明さんからは内諾をいただいている。開催は7月か8月を予定している。

また、大浦安地域協議会合同研修会については、前回、研修テーマをお聞きして、講師については正副会長に一任していただくことを確認したため、「移住促進における空き家の活用」をテーマに、長野県信濃町で活動されている「NPO法人ざいごう」へお願いし、内諾をいただいている。先方と調整になるが、講師は理事長と事務局長の2人になる可能性もある。なお、開催時期は11月頃にしたいと考えている。

今説明した内容で進めてよろしいか。

(会場内から「はい」の声)

了解いただいたため、事務局と三役で調整しながら日程を決めていきたいと考える。

次に「(2)自主的審議事項の検討について」、最初にAグループから報告をお願いします。

【池田副会長】

Aグループの進捗状況について報告する。

5月16日(火)にAグループのグループワークを開催し、これまでの進捗状況の報告と情報共有をさせていただいた。協議事項として、文化の伝承について各委員から寄せられた情報により、3団体の動向を把握し、今後のスケジュールを確認した。あわせて、自主的審議事項として、地域協議会での協議へ進めていくかどうかなど、今後の方向性について確認したところである。

確認した内容は、

- ・月影雅楽では毎月第2・第4土曜日に練習を行っており、また、10月15日(日)の月影芸能祭への出演も了解いただいている。
- ・飯室神楽は、月影芸能祭への出演についてまだ決定しておらず、今後も関係者の皆さんで話を詰めていただき返事をもらうこととなっている。
- ・保倉川太鼓については、月影芸能祭への出演を快諾いただいている。

なお、10月28日(土)に開催される浦川原中学校閉校記念音楽祭については、3団体とも出演の了解をいただいている。

今後の進め方では、地域協議会の自主的審議事項として協議するため、Aグループの提案書を6月の地域協議会へ提出できるよう進めているところである。

次回のグループワークは、6月13日(火)に開催したいと考えている。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

続いてBグループの報告をさせていただく。

5月11日（木）、意見書への回答について、Bグループとして検討した。

内容としては、我々地域協議会は、直接北越急行株式会社との交渉ができないため、この部分は行政から働きかけていただくこととし、我々が地域でできることについて取りまとめを行った。

「意見3」では、当地域の農産物や特産物を北越急行株式会社のネットショップを活用して販売し、利益の一部を北越急行株式会社へ還元するといった内容であった。結論から申し上げますと、「NPO法人夢あふれるまち浦川原から窓口となってほしい」ということで、これについては、いろいろ解決しなければならない部分があり、NPO法人夢あふれるまち浦川原としての課題がある。人員の問題や報酬の問題、利益の問題などがあるが、まずは実施して、どのような反応になるのかといった部分について、皆さんから検討していただきたいと考えており、これについて了解いただきたいと考えている。

例えば、農産物の集荷や出荷作業において、窓口はNPO法人夢あふれるまち浦川原とし、実際の集荷、出荷作業を行う事業所の選定をしなければならないと考えている。これについて、当地域協議会委員である相澤誠一委員に相談したところ、「あるるん畑」や「浦川原物産館」などの案が出たが、経営システムが確立していないので、なかなか難しいのではないかという意見であった。また、実際に事業を行っている「株式会社エー・エフ・グリーン」などからは、「全く余裕がない」「現在の仕事で手いっぱい」といった回答があった。この件については、「有限会社農福連携推進センター」へ委託して進めていくことができれば良いのではないかと考えている。

「意見5」では、駅舎の有効活用に向けて、地域で企画・運営していくイベントを開催するには、企画と実行部隊が必要である。企画については、NPO法人夢あふれるまち浦川原で行い、実行部隊は別の団体という形にしなければならないと思っている。実行部隊については「あざみクラブ」や「さわやかクラブ」などの団体があり、既に了解をいただいているため、公表しても良いと考えており、代表の方から体制を整えていただけることになったので、企画の段階から参加していただき、打合せをしながら、どちらかの団体から引き受けていただくことになっている。

この結果について、6月12日（月）午後6時30分から、グループワークを開催することとし、この中で進捗状況を報告できるようにしていきたいと思っている。また、ほくほく線にかかわる事項やJR黒井駅への停車についてと、新車両へのトイレの設置等については、回答内容を確認した上、検討していくことで了解をいただいた。

以上、報告とさせていただきますが、意見、質問等あればお願いします。

(会場内から「なし」の声)

次に「(3)地域活性化の方向性の作成について」、前回の地域協議会において、8月の完成に向けて協議の場を設定するということで確認いただいたので、どのように進めていくか、ご意見をいただきたい。

意見が出ないようなので、私と事務局で素案を作成し、三役で検討して6月の地域協議会で皆さんから協議していただくということでよろしいか。

(会場内から「よろしく願います」の声)

それでは、事務局からも協力をいただき素案を作成していきたい。

次に「4 その他」に入る。「令和5年度活動計画について」、前回の地域協議会で各項目についてご意見をいただき、事務局から資料3のとおり整理していただいたので、ご確認いただきたい。

この資料3について意見、質問等あれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

それでは、資料3のとおり進めていきたい。また、資料4「大潟区における地域活性化の方向性」もあわせて皆さんからご覧いただきたい。

次に「出張なんでも懇談会の開催について」と「移動市長室の開催について」、事務局から説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

資料4の「大潟区における地域活性化の方向性」について事前配付させていただいたが、その後、本日までに谷浜区、桑取区における方向性と三郷区における方向性が決定し、資料を本日配付させていただいた。参考としていただきたい。

【佐々木次長】

次第には載っていないが、移動市長室の開催と地域独自の予算の資料を本日配付させていただいた。

まず、移動市長室については、市長が浦川原区に赴いて執務を行い、その会場において個別に面談形式で市民の皆さんと意見交換を行うものである。開催日は7月11日(火)、会場は事務所の301会議室である。2時から5時までの間に6組、午後6時半から8時半までの間に4組の意見交換を予定している。具体的時間帯は①～⑩までとなっており、希望される時間帯を申し込んでいただきたい。申込期限は6月26日(月)までであり、現在申込みを受け付けているので、総務・地域振興グループに電話をいただくか、市のホームページから申込みをお願いしたい。その際に、住所、氏名、連絡先のほか、希望の時間、意見交換

テーマを伝えていただくこととなる。意見交換のテーマについては、第7次総合計画の5つの基本目標の中から1つ選んでいただき、テーマに沿って意見交換をすることになる。

地域独自の予算のパンフレットについては、この5月に作成したものである。内容をご確認いただくとともに、周知をお願いしたいと考えている。

【市民生活・福祉グループ春日上席保健師長】

7月2日（日）、浦川原コミュニティプラザを会場に、新型コロナウイルスワクチンの集団接種を実施する。対象となる65歳以上の方々には、6月上旬までに日時・会場を指定した案内通知が届くことになっているので、お待ちいただきたい。

【教育・文化グループ西山グループ長】

6月18日（日）に地域独自の予算を活用し、うらがわらスポーツクラブの主催で「第9回うらスポマラソン大会」が開催される。現在のエントリー状況は、11kmのコースが78人、6kmのコースが51人、3kmのコースが111人で計240人となっている。また、応援のためのボランティアについては、コースを通過する町内会や関係団体等に依頼し、150人ほど募集をしているといった情報をいただいている。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等あれば受ける。

（会場内から「なし」の声）

次に「5 次回の会議日程」であるが、6月27日（火）午後6時30分から、ここコミュニティプラザ4階の市民活動室4・5で開催する。皆さんの日程調整をお願いしたい。

それでは、第2回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-599-2301（内線305）

E-mail：uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。